

第34回 神戸地本委員会を開催！



団結ガンバローを行う
須原委員長

2026春闘勝利へ総団結

JR西労組神戸地本は、3月9日(月)、元町学校厚生会館において、「第34回神戸地本委員会」を開催し、委員、執行部、来賓、傍聴者含め約90名が出席した。

委員会は、出席者全員で黙禱を行い、議長に福本委員(姫路支部)を選出し、議事に入った。冒頭、執行部を代表して須原委員長より、自然災害が多様化・複合化する中、「備えと仲間どうしの支えあい」の重要性と、万が一に備える組合の仕組みとしてセトリ共済の意義が述べられた。あわせて、安全、2026春闘、組織、業務課題、政治の主要課題5点について挨拶し、神戸地本総団結で春闘を盛り上げていく決意が示された。

来賓には、中央本部から神戸地本出身の川原副委員長、白井情宣・文レク・政治部長を迎え、代表して川原副委員長より、会場の情勢・2026春闘の現状などを中心に5点の挨拶をいただいた。

議事では、昨年の地本大会以降の運動総括と当面する活動方針(案)が提起され、8名の委員から19項目について発言が行われた。石原書記長の総括答弁の後、委員会スローガンをはじめ全ての議事が満場一致で確認された。

後藤青年女性委員長が委員会スローガンを提起し、最後は須原委員長の団結ガンバローで閉会した。本委員会をもって12地本総支部すべての委員会が終了し、春闘への機運は最高潮に達している。組合員の皆様には、最後まで春闘完全勝利に向けた行動への協力を要請する。

職場を代表しての各委員の質疑内容！

- 倉田委員(網干総合車両所分会)**
 - ・短期育休であっても要員配置が必要である。対応が困難な場合は、短期育休フォロー手当の新設を求めたい。
 - ・当直業務では、仕業リミット管理や乗務員運用管理など、実態として指令と同等の業務を担っている。職務に見合った当直手当を新設すべき。
 - ・間接部門は原則フレックスとし、出場検査班や契約社員にもフレックス適用を拡大してほしい。
 - ・共済配布物については、一元的なスケジュール管理など、効率的な配布への配慮を求める。
- 伊庭委員(明石電車区分会)**
 - ・Microsoft 365(旧称:Office 365)の利用について、勤務時間内のみ使用可となっており、自宅で勤務表等を閲覧しただけでも超勤扱いとなる。周知も不十分で、意図せずルールを逸脱しているケースがある。自己研鑽や閲覧のみの使用ルールを整備すべき。
 - ・要員需給について、社会情勢の変化により会社認識と現場実態に乖離がある。突発休や短日数勤務、男性の短期育休も増えている。年休についても年五日の取得だけでなく、流すことなく消化できる体制とすべき。
 - ・中長期的な要員配置を含め、実態に合った要員需給を求める。
 - ・勤務調整があることで安心して働けている一方、調整終了後に退職せざるを得ない実態がある。現行の対象年齢では不十分であり、中学生、高校生まで配慮されたい。
 - ・西明石での快速乗り継ぎについて、加古川線の今後について。
- 松井委員(姫路運輸分会)**
 - ・カスハラ対策としての氏名札の廃止を含めた見直しを求める。
 - ・住宅補助金について、現状では不十分であり、増額を求めたい。
 - ・春闘山場に向け、組合員の団結を呼びかけたい。
 - ・新しい制服の交換時期はいつになるのか。情報があれば教えてほしい。
 - ・レクについて、年齢制限などがあり、本部への参加が難しいと感じる。
- 林委員(姫路列車区分会)**
 - ・103系の故障が多発しており、部品不足の影響もある。特に方向幕の故障が目立つ。
 - ・勤務調整について、短日数制度の対象年齢は現状では不十分である。中学生でも一人で家に置くことへの不安は大きく、さらなる配慮が必要である。
- 山家委員(ひめじ運転区分会)**
 - ・智頭急行でICOCA導入との発表があった。JRとしても、姫新線を含むICOCAエリアの拡大を検討してほしい。
 - ・本社・支社からの事務連について、現場実態と乖離した内容のものが出されている。修正に時間がかかっており、事前のヒアリングを含めた対応を求める。
- 惣田委員(相生運輸分会)**
 - ・ダイヤ乱れで出勤が遅れた場合の支障対応時に超勤が付かない取り扱いについて、納得できない。
 - ・巡回手当について、駅現場では駆けつけ対応が増加している。実態を踏まえ、駆けつけ対応を評価する制度とすべき。
- 道上委員(神戸支部)**
 - ・春闘について、満額回答を求めたい。
 - ・制服は導入から十年が経過している。新制服への更新やポロシャツ導入を検討してほしい。
 - ・本部レクリエーションについて、年齢や男女の制限があり参加しづらい。制限をなくし、地本全員参加型のレクを検討してほしい。
- 高原委員(西明石運輸分会)**
 - ・巡回化が増え、切符詰まりへの即応が困難となっている。下車駅での対応や買い直しが発生している実態がある。
 - ・業務連絡書について、簡素化のルールを設けてほしい。複数社にまたがる課題である。



総括答弁を行う石原書記長



議長を務めた福本委員



網干総合車両所分会 倉田委員



明石電車区分会 伊庭委員



挨拶を行う 須原委員長



開会挨拶を行う
友田副委員長



閉会挨拶を行う
橋本副委員長



本部を代表して挨拶を行う
川原委員長



運動の総括を行う
鳥住副委員長



委員会宣言を読み上げる
後藤青年女性委員長